

小論文 (問題)

2011年度

<2011 H23059020>

注意事項

- 1 問題冊子および解答用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 2 問題は3ページに記載されている。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定の欄に、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。解答用紙の余白および枠外への記入はすべて禁ずる。
- 4 受験番号および氏名は解答用紙の所定の欄だけに記入し、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入してはならない。
- 5 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読み、「スポーツとは何か？」についてのあなたの考えとその理由について、八〇一字以上二〇〇〇字以内で述べなさい。

いま、スポーツが、暴走している。

テレビのスイッチをひねると、いつでも、どこかのチャンネルで、必ずスポーツ番組が放送されている。世界のニュースのトップ項目が、スポーツの話題であるというのも、けっして珍しいことではなくなった。ビッグ・スポーツ・イベントが、国内大会、国際大会ともに、目白押しに開催され、新聞にも雑誌にも、スポーツ情報がつねに満載されている。

これほどスポーツが繁栄した時代は、過去にない。

おそらく将来も、スポーツは「暴走」といえるほどに繁栄しつづけることだろう。……

そう断言できるのは、スポーツが、人間の「身体」に依拠した「文化」だからである。……

人間が存在しつづけるかぎり、そして単に労働をするだけでなく、生存すること以上の文化的付加価値のある営為と取り組みつづけるかぎり、人間社会からスポーツ文化がなくなることは考えられないのである。……

ところが、日本では、明治時代に欧米からスポーツ文化が流入して以来、その価値はきちんと認識されることなく、ただ国威発揚の手段としてオリンピックでのメダル獲得だけがめざされたり、企業の販売拡張や宣伝の手段として利用されたり、兵士の身体鍛錬に利用されたり、あるいは、ただの娯楽、気晴らしとして、労働よりも低い価値しか認められない存在にとどまりつづけた。……

要するに、「スポーツとは何か？」が問われることなく、スポーツの文化としての重要性が認識されることもなく、日本のスポーツは、ただただ消費されつづけてきたのである。

このような状態が未来までつづけば、おそらく日本のスポーツ界は、世界から取り残されてしまうだろう。いや、日本のスポーツ界だけでなく、日本の社会の後進性が暴露されてしまうだろう。未来社会におけるスポーツの重要性に気づき、スポーツ文化を育もうとしている多くの国々と比較して、日本は、真に豊かな社会を築くことのできない、ただの「経済大国」のままで終わってしまうだろう。いや、スポーツのようなソフトウェアが世界の経済活動でも重要な地位を占めるようになると思われる未来社会で、日本がスポーツ後進国にとどまりつづけるなら、経済的にも先進国の座から滑り落ちるにちがいない。

いったい、日本のスポーツ文化は、どうあるべきか？ スポーツという未来社会におけるきわめて重要な文化を、日本の社会はどのように発展させるべきなのか？ それらの問いに対する回答が、いまこそ、求められているのだ。

それには、まず、多くの日本人が、「スポーツとは何か？」という問いに対する回答を共有する必要がある。……

スポーツの定義は、国語辞典ならば、〈遊戯・競争・肉体的鍛錬の要素をふくむ身体運動の総称〉といった説明でいいだろう。が、「スポーツとは何か？」という命題に対する回答としては、「スポーツ学者の数だけある」といわれるくらい数多く存在する。

その一部を、紹介してみよう。

〈余暇における余剰身体エネルギーの消費（浪費）〉（多くのスポーツ学者の説）

〈歴史に生じてきた非暴力化（文明化）の傾向を、直接身体で表象する実践の形式〉（ノルベルト・エリアス）

〈人間及び動物がその美しさを増大することを目的として行う努力〉（マルセル・ブランジエ）

〈遊技、闘争、および激しい肉體活動の複合されたもの〉（ベルナル・ジレ）

〈プレイ（遊び）の性格を持ち、自己または他者との競争、あるいは自然の障害との対決をふくむ運動〉（ICSSPE

「国際スポーツ・体育評議会」）

「身体運動による精神の解放」「合理的な身体運動のなかで、非合理的な人間の存在を浮き彫りにする行為」——この2つは、本書の著者による定義である。

